

高松市奥の湯温泉（高松市塩江町上西甲 7 8 3 番地 1）の現状

観光振興課

【市の重要な観光資源】

昭和 50 年に供用開始となって以降、県境に位置する辺境でありながら、年間多くの利用者が訪れている。良質の温泉、美味しい料理に加え、県下最高峰の竜王山（標高 1059.9m）の懐に抱かれたロケーション等が、近年のストレス社会の中で癒しの空間になっており、登山や森林浴等の拠点施設にもなっている。

また、地域住民のよりどころであり、常連客も多い。また人との交流や地場産品の出品等、生きがいがづくりにも寄与している。

平成 21 年度に、老人福祉センターから観光施設となったことに伴い、利用促進を図るため、回数券の発行、ホームページやパンフレットのリニューアル、食堂の新規メニューの開発等に取り組んできている。

【経営状況】

近年、レジャーの多様化や市内に位置する温浴施設等の増加等の理由により、塩江温泉郷に訪れる観光客は減少傾向にあり、近隣の民間施設が相次いで閉鎖するなど厳しい情勢の中、奥の湯温泉も例外ではなく、入場者数が減少するなど経営状況は思わしくない。なお、平成 21 年度に起債償還が終了した。

(単位：円)

区分 \ 年度	18 決算	19 決算	20 決算	21 決算	22 予算
歳入歳出合計	144,932,593	136,588,269	137,816,693	127,342,772	109,595,000
うち一般会計 繰入金	69,234,154	61,661,167	68,033,783	59,682,710	34,233,000

【入場者数の状況】

19 年度までは、60 歳以上の市内高齢者は 100 円で入浴できていたことから、入場者数は大きく伸びてきていた。20 年度に、料金が「県が定めた公衆浴場料金の額」に統一されて以後は、値上げの影響もあり、利用者数が大幅に減少している。

(単位：人)

区分 \ 年度	18	19	20	21
入浴	67,145	72,702	50,974	42,541
宿泊	2,180	2,072	1,782	1,776
計	69,325	74,774	52,756	44,317

【雇用状況】

経費削減のため、所長を除く全ての職員（20 名）が非常勤嘱託職員（短期臨時職員 3 名含む）であり、比較的安い賃金で雇用されている。また、うち 17 名（地元雇用の割合は 85%）が地元雇用である。大半の職員が 60 歳前後の年齢になっており、退職の時期を迎える職員も多い。

【施設の現状】

奥の湯温泉は、当初の建築が、昭和 49、50 年で、その後 51、52、53、54 年、平成 6、11 年度と増改築してきた経緯もあり、建物が非常に複雑化している。また、施設の大半部分において築後 30 年を超えている。現在、老朽化が顕著な給排水設備、冷房設備等については計画的な修繕を実施している。